

課題解決のための授業及び取組紹介

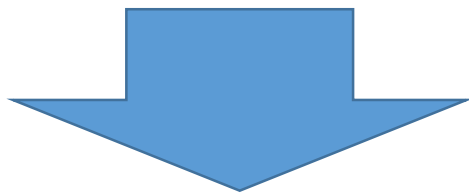
英語プロジェクトリーダー

大津町立室小学校 奥村まどか教諭

課題解決に向けた 本年度の取組について

英語が「好き」「わかる」「できた」と 児童が実感できる授業づくり

コミュニケーションを行う目的や場面などを設定した
言語活動の充実と基礎的・基本的事項の定着を目指して



- ①言語活動の充実
- ②基礎的・基本的事項の定着を目指して

授業づくり省察シートについて

【授業づくり省察の視点】

ア 指導と評価の一体化を図る授業のために (CAN-DOリストの作成及び活用)

① 学年の学習到達目標を踏まえて、単元の目標及び評価規準を適切に設定しているか
(領域別目標の焦点化)

年間計画

② 単元を通じた学習課題を達成した子供の姿を児童と共有し、単元を通して児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう手立てを図っているか

単元計画

③ 単元の目標を達成した児童の姿を具体的にイメージ(見える化)し、児童ができるようになった適切な時期に、適切な方法で記録に残す評価を実施しているか

単元計画

④ 学年の学習到達目標を達成できたか適切に見取るため、各単元とは別に、内容のまとめごとに、学期に1回程度のパフォーマンステストを実施しているか

年間計画

授業づくり省察シートについて

イ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる言語活動のために

※小学校外国語（活動）における言語活動

授業

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」

① 言語活動には、次の4つの要素が満たされているか

1) 「伝え合う必然性があるか」

2) 「相手意識をもって取り組むことができるか」

3) 「『本物』のコミュニケーションであるか」

4) 「コミュニケーションの意義や楽しさを感じられるか」

言語活動の内容

② 単元を通して、1単位時間の授業の中心が「言語活動」となる授業を実践しているか

③ 言語活動では、「練習して口慣らしをしてから使ってみる」だけでなく、「実際に使いながら習得させる」指導を実践しているか

基礎・基本の定着

言語活動の内容

④ 単元を通して、（前学年、前単元までに学習した）既習事項を繰り返し活用し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて伝える内容や表現を工夫する言語活動を実践しているか

基礎・基本の定着

言語活動の内容

ウ R5英語授業づくりプロジェクトの目標

- ① 英語が「好き」「わかる」「できた」と児童が実感できるための授業づくりを意識しているか

奥村先生の授業3つのポイント

①言語活動の充実

実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動

導入	10分	1 はじめの挨拶。 (1) warm up (2) Small talk. 2 本時のめあてをつかむ。 (1) 前時の振り返り紹介。 (2) 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none">○ テンポよくやり取りを行い、外国語学習に取り組む雰囲気を作る。○ 本単元で学習した表現を活用する場面を設定し、本時の学習につなげる。○ 単元のゴールを確認し、相手意識や目的意識を持つようにする。
		Today's goal. オースティン先生がより興味をもつように、発表を工夫しよう。	
		3 Activity 1 (1) 教師の紹介とALTの紹介を比べる。 (2) どんな工夫ができるかを考える。 ◇質問を入れる。 ◇It's ~. を使っている。感想を言う。 (3) Do you like ~? や It's ~. を使った表現を練習する。	<ul style="list-style-type: none">○ 教師とALTの紹介を見比べることで、どちらが興味をもつかを考えることができるようにする。○ 相手に質問をしたり、感想を入れたりすることで、興味をひき、分かりやすくなることに気付くようにする。○ 教師の発表モデルから、どんな感想を入れることができるかを考え、練習をする。

Small Talkの指導過程

ポイントのまとめ

① 教師と児童のやり取り



② 児童と児童のやり取り



③ 指導



④ 児童と児童のやり取り

【相手を変えて】

相手を変えて、複数回

- ・話題の提供
 - ・使わせたい英語を先生が使って対話
 - 出だしの疑問文
 - 対話の継続の英語（反応、関連質問）
- ◎楽しく伝え合う

- ・既習をみんなで想起
- ・「使わせたい英語」は確認

奥村先生の授業3つのポイント

② 基礎・基本の定着（中間指導）

展 開	30 分	4 Activity 2 (1) ペアで練習する。 (2) 中間指導を行う。 (3) ペアを変えて練習する。 (4) 中間指導を行う。 (5) ペアを変えて練習をする。	○ 机間指導を行いながら児童の学習状況を見取り、必要に応じて全体指導や個別支援を行う。 ○ 中間評価では、Do you like～?やIt's～.を使うことができたかを確認したり、分からなかった表現を共有し、全体で考えながら解決することで、次の活動への意欲を高める。
--------	---------	---	--

《学習活動（例）》

① **【言語活動 1】**

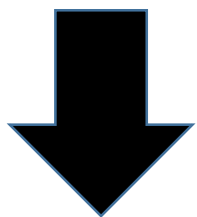
日本の行事や祭りについて詳しくやり取りを行う

まずやってみる



② **【中間指導】**

It's ~を使ったり、リアクションをしたりして目標に近い形でやり取りしているペアを紹介し、全体で確認する



よく表現できているペア = 全体で紹介

まちがいなど = 全体で共有

③ **【言語活動 2】** 言語活動 1 をもう 1 回やってみる

言語活動 1 より指導を通してよくなったか

奥村先生の授業3つのポイント

③基礎・基本の定着（繰り返し）

	<p>3 Activity 1</p> <p>(1) 教師の紹介と ALT の紹介を比べる。</p> <p>(2) どんな工夫ができるかを考える。</p> <p>◇質問を入れる。</p> <p>◇It's ~. を使っている。感想を言う。</p> <p>(3) Do you like ~? や It's ~. を使った表現を練習する。</p>	<p>○ 教師とALTの紹介を見比べることで、どちらが興味をもつかを考えることができるようにする。</p> <p>○ 相手に質問をしたり、感想を入れたりすることで、興味をひき、分かりやすくなることに気付くようにする。</p> <p>○ 教師の発表モデルから、どんな感想を入れることができるかを考え、練習をする。</p>
--	--	---

(4) 班別協議

①授業を行う上で
今一番課題となっていることを書いてみましょう
(別紙1)

②授業省察シートのどれにあたりますか
(例) ア①

※どれにも当てはまらない場合はその他



英語授業づくりプロジェクト（管内等研修）

○第2回の管内等研修で班別協議の際に使用します。

○完成させてご持参ください

【第1回管内等研修】

学校名

作成者

課題

本年度の取組

【第2回管内等研修】

学校名

作成者

第1回管内等研修後の取組紹介（写真等も掲載可）

(4) 班別協議

③ グループで課題を共有しましょう。

④ これまでの取組や本日の授業などから、
アイデアや情報を出し合い、
課題解決のヒントを話し合しましょう。



昨年度の感想より

デジタル教科書の
効果的な
使い方は？

見方・考え方を
生かして深い
学びにつな
ぐ取組は？

パフォーマンス
テストの評価を
詳しく知りた
い！

単元計画を作成す
るにあたっての
ゴールの設定は？





パフォーマンス
テストの評価を
詳しく知りたい！

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

小学校

外国語・外国語活動

令和2年3月

文部科学省
国立教育政策研究所
NIER
教育課程研究センター



第3編
事例2

4-1 「話すこと【発表】（知識・技能）」の評価例（第6時）

評価場面	Who is he? Who is she? 活動内容：Activity 2 で友達にインタビューしたことをもとに、クイズを出したり答えたりする。デモンストレーションとして教師が出題したのち、代表児童が出題して他の児童が答える。グループで順に児童が出すヒントを聞いてそれが学級の誰かを当てる。
評価方法	行動観察
事前の手立て	・第4時のActivity 2 を行う段階で、友達にインタビューした結果をもとに、第6時に Who is this? クイズを行うことを告げ、どんなことをクイズのヒントにするかを想定して、インタビューする内容を考えさせておくようにする。
評価例	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>児童1～3の発表内容は、すべて男児についてである。</p> <p><u>児童1の発表</u></p> <p>Hello.</p> <p>Who is this? He can play soccer well. He can run fast. He can't play the piano.</p> <p>Who is he?</p> <p><u>児童2の発表</u></p> <p>He can run fast. Swim, he can swim. He can..., あれっ? soccer. He can play soccer.</p> <p>He can ..., he can't play piano. Who is he?</p> <p><u>児童3の発表</u></p> <p>He can run fast. He can soccer. He can... can't piano. Who is he?</p> </div> <p>・児童1は、第三者ができることやできないことを表す表現を理解し、それらを正しく使って第三者についてできることやできないことを話しているので、「知識・技能」において「十分満足できる」状況(a)と判断した。</p> <p>・児童2は、第三者ができることやできないことを表す表現をおおむね理解し、第三者についてできることやできないことを話しているので、「知識・技能」において「おおむね満足できる」状況(b)と判断した。</p> <p>・児童3は、第三者の言い方 he, she について理解しているが、できることやできないことを表す表現を理解していない、またそれらを使って第三者についてできることやできないことを十分に話せていないので、「知識・技能」において「努力を要する」状況(c)と判断した。</p>
	・「努力を要する」状況(c)と評価した児童がいた場合は、その後の指導改善や学習改善につながる手立てを継続して行うようにする。例えば、本時の次の活動 Activity 3 (インタビュー

児童の学習意欲を高める パフォーマンステストの実施【宇城市当尾小】

児童の学習意欲を高めるパフォーマンステスト・ペーパーテストの実施

- 領域別目標の「話すこと [やり取り]」の児童の学習状況を適切に評価するため、学期に1回程度のパフォーマンステストを実施
- 「聞くこと」に係る自作のペーパーテストを作成し、個々の児童の観点別学習状況を適切に評価

「話すこと [やり取り]」パフォーマンステスト 【6年Unit 1~3の複数単元を通して学習した内容】

課題 ALTの先生ともっと仲良くなるために、自己紹介したり、先生に質問したりしよう！



主体的な学びを生み出すために

- パフォーマンス課題は、単元を通して学習した内容を踏まえ、それらに類似したコミュニケーションの目的や場面、状況等を設定。
- パフォーマンステストの実施について、単元の導入時から児童に課題を提示し、目標と見通しをもたせる。

評価の妥当性を高めるために

- ALTと児童の対話場面を設定し条件をそろえてテストを実施。
- ALTと具体的評価規準 (a, b) を共有し、個々の児童の発話の状況に合わせて質問するなどして、ベストパフォーマンスを引き出す。

「聞くこと」自作ペーパーテスト 【My Future, My Dream】

課題 松橋中学校に入学するいくこさんのスピーチを聞いて、中学校で仲良くなれるように、スピーチから分かったことをもとにメッセージを書きましょう。

【スクリーンショット】 Hello. My name is Ikuko. I want to join the brass band. I want to try the saxophone. I want to study English and social studies hard. I like English, but I'm not good at social studies. Do you like English? I want to enjoy the school trip. I want to go to Kyoto. Where do you want to go? Thank you.

〈児童の解答〉 いくこさんへ

吹奏楽部に入って サクソフォンもやりたいんですね。私は バレエ部 に入りたいです。社会が 苦手 で 英語 が 得意 なんですね。私は 社会 より 歴史 が 得意 です。英語は 得意 だけど 中学校 で もっと 英語 勉強して 語彙 書き が もっと できる よう に したい です。修学旅行で 京都 に行きたいです。私は USJ と 奈良 に行きたいです。なんで 京都 に行きたいんですか？



【思・判・表】の評価
一言一句全てを詳細に聞き取ろうとするのではなく、目的等に応じて、自分にとって必要な情報は何かを考えながら聞いている様子を出させる。指導者は、記述の内容を分析し、評価の記録を残す。

「聞くこと」の指導と評価について

- 授業では、何を聞き取ればよいのか、何を聞き取りたいのかを明らかにし、目的意識をもった聞き方ができるように指導する。
- 評価問題も、コミュニケーションの目的等を設定する。また、「知・技」「思・判・表」「態度」などの観点ごとに記録に残す評価を行う。

義務教育課英語教育推進室HP



本文へ AA 文字の大きさ・色の変更 音声読み上げ Foreign Language マイページ 検索

防災・暮らし・環境

健康・福祉・子育て

観光・しごと・産業

学び・文化・国際

まちづくり・社会基盤

県の紹介・計画・入札

現在地 ホーム > 英語教育推進室

足あと 英語教育推進室 ✕

英語教育推進室



English Education
Promotion Office

先生向け

英語教育推進室

印刷 文字を大きくして印刷 ページ番号 : 0055731 更新日 : 2020年10月27日更新

新着情報

> RSS > 一覧へ



2021年8月16日更新
小学校英語教育通信第14号



2021年8月16日更新
小学校英語教育通信第13号【小中高連携(1)】

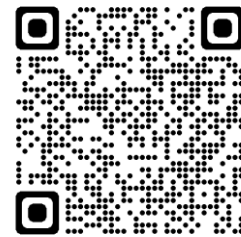


2021年8月11日更新



GIGAスクール構想のもとでの 小学校外国語活動・外国語科の指導について ～ICTを活用した事例集～

【文部科学省】



小学校・第5学年・外国語科・I want to go to Italy.②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



【事例におけるICT活用の場面③】



デジタル教科書の
効果的な使い方
は？

① Small Talk

遠隔による1対1のやり取りを相手を替えて複数回実施。題材を前時に学級内の友達同士で扱ったもの（日本のおすすめの地域）にすることで、初対面の相手とも意欲的にやり取りすることができた。

② 発話練習

本時の言語活動で使用する基本表現については、ALTがオリジナル動画を作成し、ファイル共有機能を用いて、ICT端末で個別に視聴させた。それにより、自己の課題に応じた練習を行うことができた。

③ 言語活動

「おすすめの国」を発表し合い、聞き手側には「行きたい国」を選ぶという目的意識を持たせた。そのことにより、児童は画面越しの相手にも、より分かりやすく伝わるように相手に配慮した発表を行った。

OICT活用の留意点

ICT端末を効果的に活用するためには、その活用場面や目的を明確にするとともに、それに要する時間などを綿密に計画する必要がある。それに伴い、授業の計画段階で活動内容全体が精選され、目標達成に向けた効果的な指導につながった。

【活用したソフトや機能】 プレゼンテーションソフト、ウェブ会議ソフト、ファイル共有機能



小学校の外国語教育はこう変わる！⑧ ～児童の意欲を高めるゴール設定の在り方～【文部科学省作成You Tube】



見方・考え方を生かして深い学びにつなぐ取組は？



単元計画を作成するにあたってのゴールの設定は？



令和5年度 全学調(書くこと)の問題から① 【中3】

(出題の趣旨)①未来表現の肯定文を正確に書くことができるかどうか

②「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうか

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

[答え] was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

令和5年度 全学調(書くこと)の問題から② 【中3】

(出題の趣旨)

日常的な話題について事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形(I'mやdon'tなど)は1語と数え、符号(、や?など)は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

令和4年度 県学調(書くこと)の問題から①【中1】

対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書いている。

9

次の(1)と(2)の対話が成り立つように、それぞれ()に入る適切な英文を3語以上の1文で書きなさい。

27/28

(1) 〈公園の前で〉

Jane: Wow, this is a big park.

Kaoru: Yes. I come to the park on weekends.

Jane: ()?

Kaoru: I dance here.

(2) 〈友達と家で〉

Emily: You have many computers.

Yumi: Yes.

Emily: ()?

Yumi: I have five computers.

本日の授業や中学校の評価問題（全学調・県学調など）を活用して授業を考えてみましょう。

- ①「単元を通した課題」を考えましょう
- ②課題を達成させるための言語活動を考えましょう

子供たちが英語が「好き」「わかる」「できた」と感じるわくわくするような授業にするためにはどんな授業が考えられますか。

省察シートを参考に話し合いながら考えてみましょう。

※言語活動は充実していますか？

※基礎基本の徹底のためにできることは？



授業づくり省察シートについて

イ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる言語活動のために

※小学校外国語（活動）における言語活動

授業

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」

① 言語活動には、次の4つの要素が満たされているか

1) 「伝え合う必然性があるか」

2) 「相手意識をもって取り組むことができるか」

3) 「『本物』のコミュニケーションであるか」

4) 「コミュニケーションの意義や楽しさを感じられるか」

言語活動の内容

② 単元を通して、1単位時間の授業の中心が「言語活動」となる授業を実践しているか

③ 言語活動では、「練習して口慣らしをしてから使ってみる」だけでなく、「実際に使いながら習得させる」指導を実践しているか

基礎・基本の定着

言語活動の内容

④ 単元を通して、（前学年、前単元までに学習した）既習事項を繰り返し活用し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて伝える内容や表現を工夫する言語活動を実践しているか

基礎・基本の定着

言語活動の内容

教科書のページ	例) Welcome to Japan	
評価領域	話すこと（発表） 書くこと	
単元を通じた課題 （「〇〇のために」 目的を必ず書きま しょう）	もっと日本や熊本のことを知っ てもらうために、オースティン 先生に熊本の行事や祭り等の魅 力を紹介しよう	
主な 言語活動	①季節や行事の言い方を知る ②行事でできることを言う ③ポスターを作成する	
ターゲット センテンス	We have ～ You can～	
基礎・基本の 充実のために	単元を通して縦横ペアで ターゲットを使ったいろいろ なやり取りを行う	



～本日のめあて～

英語が

「好き」「わかる」「できた」

と児童生徒が実感できるための

具体的な授業づくり

について学ぶことができる



～本日のまとめ～

わかったこと

明日から
取り組みたいこと
(本年度
取り組むこと)

(省察シートの番号)



英語授業づくりプロジェクト（管内等研修）

○第2回の管内等研修で班別協議の際に使用します。

○完成させてご持参ください

【第1回管内等研修】

学校名	作成者
課題	
本年度の取組	

【第2回管内等研修】

学校名	作成者
第1回管内等研修後の取組紹介（写真等も掲載可）	

県立教育センター
北村 美記 指導主事

英語・日本語教育推進室
太田 篤士 指導主事

まとめ

菊池教育事務所

工藤 竜一 主幹兼指導課長